

令和8年8月の住まいのきになる通信

(1) よみがえった築古物件 住民自治が「廃墟」防ぐ

- * 築40年以上のマンションは2024年末で全国に約148万戸。
- * 20年後には3倍超の約483万戸に上ると推計。
- * マンションの物理的な寿命は80年とも100年超とも。
- * 永住希望者は6割。
- * 国が2022年度に始めた「管理計画認定制度」。
- * 4月施行の分譲マンション関連法では、管理組合決議の要件を大幅に緩和。
- * 所在不明者などの所有者を母数から外し、速やかに意思決定できるようにしました。

(2026年7月22日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(2) 新築マンション5.7%高の5453万円

近畿の1～6月平均

- * 1～6月の近畿圏（2府4県）の新築マンション平均価格は、前年同期比5.7%高の5453万円。2年ぶりに上昇。
- * 発売戸数も7329戸と3.8%増。
- * 郊外を中心に高単価のファミリー物件が増えました。
- * 1m²あたりの単価は98万円。
- * 最高値を6年連続で更新。

(2026年7月22日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

